

# 転退任される先生方 お世話になりました



校長 野田 定延 先生  
島原高等学校 へ



世界史 藤迫 明先生 (定年退職)  
波佐見高校 へ



教頭 小柳 勝彦 先生  
県教育委員会 へ



商業 末次 秀樹 先生  
諫早東高校 へ



家庭 井上 育子 先生  
大村城南高校 へ



英語 江頭 健剛 先生  
佐世保中央高校 へ



化学 宮崎 恵 先生  
佐世保西高校 へ



生物 辻 健太郎 先生  
北松西高校 へ



音楽 大小瀬 泉子 先生  
彦岐高校 へ



保健体育 永瀬 諒 先生  
長崎南高校 へ



数学 川瀬 啓典 先生  
上対馬高校 へ



保健体育 黒江 洋樹 先生  
上対馬高校 へ



事務 前田 淳 先生  
佐世保北高校 へ



中国語 下 涵 先生 (退職)

長い間、ありがとうございました。

ますますのご活躍をお祈りします



〈校訓〉 自律・積極・究理

# 波高通信



〈スローガン〉「チーム波佐見」～常に前進 常に一步～

第24号 平成28年3月24日発行

## 校長室より 『校風に育てられる、校風を育てる』



「あなたが通っている波佐見高校の校風について話してください。」という質問を入社試験で聞かれたら、皆さんは何と答えますか？ 校風とは、その学校にみられる伝統的な気質、学校の魅力の本質をなすもののことをいいます。つまり、その学校らしさ（波高の雰囲気、生徒の多くに共通して見られるような特徴、特性、傾向など）のことです。

波佐見高校の校風として私が思い浮かべるのは、「明るく元気」「個性を伸ばす」「部活動が盛ん」といったところです。これらは全て、これまで波高で学んできた人たちみんなで作りに上げてきた波高らしさです。

皆さんは、この校風に育てられているのです。そして、この校風を育てているのも皆さんです。また、校訓「自律 積極 究理」のとおり、自らを厳しく律し、何事にも積極果敢にチャレンジし、物事の真理を明らかにするという

教育目標が、校風を形作っているといってもいいでしょう。なぜなら、校風というものは一朝一夕にできるものではないからです。多くの方がその学校で共に生活し、共に活動する日々を重ねる中で、自然に醸し出されるものなのです。

皆さんがこの教育目標に向かって努力する日々が、校風を育てているのです。これから、皆さんが起こすさわやかな風が新しい校風を育てていきます。波高生としての誇りを持ち、何事にも精一杯頑張ることで新しい校風をつくっていきましょう。これからの校風を作っていくのは、今、波高に在籍している皆さんなのです。昭和52年度の開校以来、多くの先輩たちが、波高の伝統をつなぎ、校風をつくってきてくれたことを心にとめながら、新たな伝統づくり、校風づくりのために前進してください。

最後に、このたびの人事異動で、島原高校への異動を命じられました。この2年間、より魅力的な学校となるために、生徒の皆さんの頑張りがあり、保護者、同窓会、地域の皆様のご理解とご協力があったことに感謝します。

また、私は、生徒の皆さんが日々の学校生活を通して、一人ひとりが自分の目標達成に向けて一歩ずつ前に進んでくれていることを大変うれしく思います。素直で何事にもひたむきに取り組む生徒の皆さん姿には、大きな感動と力をいただきました。

来年度は、いよいよ創立40周年を迎えます。波佐見高校の更なる発展と生徒の皆さんの頑張り期待し、お礼の言葉といたします。本当にお世話になりました。そして、ありがとうございました。

(野田定延)



## 第39回 卒業証書授与式

## 《一致団結！全員卒業！》

3月1日（火）第39回長崎県立波佐見高等学校卒業証書授与式がたくさんのお賓の方にご臨席を賜り、厳粛にとり行われました。この日に卒業した**第39回生は、普通科・商業科合わせて男子68名、女子62名合計130名でした。**卒業生130名を代表して原響子さんが答辞を述べました。今年度で最後となる普通科陶芸デザインコースに在籍していた原さんは、3年間の高校生活を自らの作品制作にたとえて、**コツコツと地道な努力を積み重ねてこそ、一つの立派な作品ができあがる。何度も困難にぶつかることはあったが、諦めることなく最後までやり遂げることが重要である**と述べました。

式歌においては、卒業生を代表して普通科の桑戸一成君が指揮を振りました。「旅立ちの日に」を合唱する130名の中には、別れを惜しんで涙する生徒もいて、その瞳の奥には仲間と卒業を互いに喜び、たたえ合う姿さえ映っているように感じました。

**鴻の巣の母校を巣立っていく39回生に幸あれ！**

（3学年主任：平林宏幸）



## ●第2学年より 《日進月歩》

2学年の今年の学年目標として、「日進月歩」を掲げましたが、生徒諸君は少しでも前に進んでくれたでしょうか。今年1年を簡単に振り返ってみます。

6月の高総体では、先輩方の最後の真剣なプレーに涙を流しました。9月の体育祭では、3年生の指導のもと、精一杯頑張りました。11月の合唱コンクールでは、学級のため、声を限りに歌いました。12月のインターンシップでは、働く事の厳しさや人との対話の難しさを学び、努力することで企業の方に好評価を得る事ができました。2月の修学旅行では、今まで体験した事のないスキーや見たことのない美術作品に触れ、見聞を広めました。生徒諸君に取って、高校生活の一番の思い出になったと思います。

さて、今年はあと半年で就職試験が待ち構えています。また、その後も進学の推薦入試や一般入試と続いていきます。**これからが勝負です。一人ひとりが、一日一日を大切に過ごし、いい結果が得られるように努力して下さい。そのためにも、学習に更に力を 入れて下さい。卒業式の日に、全員が笑顔で卒業できることを願っています。**



（2学年主任 今村 勲）

## ●第1学年より 今の僕（私）は、あの日の君に胸を張れるかな？ （いきものがかり「歩いていこう」より）

初めての学年集会で「これから1学年の船が出航します。みんな、それぞれの港（進路実現）は違うけれど、各自の港に無事たどり着くために、幾多の荒波を越えながらがんばって進んでいこう」といった内容の話をしました。さて、この1年でどれくらい進んでいるのでしょうか？目標とする航路は、間違っていないでしょうか？修正は今からでも間に合います。自分が目指す港をしっかりと決めて、それに向かって新年度から気持ちを新たに前進していこう。今年1年間で、以下のような授業以外の学年行事も無事に終えることができました。  
4月 宿泊研修 5月 外部講演会（コミュニケーションについて）6月 アサーショントレーニング 7月 DV防止講話 9月 外部講演会（職業講話）10月 健康講話11月 陶芸教育、上級学校訪問 12月 漢字検定プレテスト 1月 外部講演会（マナー講座）2月 インターンシップ 3月 面接練習

このような波高での経験を積み重ねて、来年度は自分をさらに進化させる1年としよう。今年初めの学年テーマは、『**コミット（公約）**』です。自分のコミットを実現させるために、**つぎなるステージの始まりです。**

（1学年主任 川内英樹）



## 進路ガイダンス

## 『職業体験型ガイダンス！』

《進路劇》劇団「小豆組」による「**正社員とフリーター**」をテーマにした寸劇をみて、フリーターがいかに不安定なものであるかを学習しました。生徒のノリがよく劇団員の方も「**こんなにノリのいい学校も珍しいです。とても楽しく演じさせていただきました**」と喜びの声を聞かせていただきました。劇団員の方は波佐見高校のために、わざわざ広島県からきていただきました。ただ講話を聞くだけでなく、このような形での研修もおもしろいものでした。

### 《職業体験ガイダンス》

生徒の就職希望が多い24講座のうちの2講座を選び、体験型のガイダンスを行いました。慣れた手つきで取り組む生徒もいましたが、始めて体験する職種に取り組む生徒は、かなり緊張した表情をで体験していたのが印象的でした。

50分の中ではあまり複雑な体験はできませんでしたが、**就職環境の現状と求められる能力・資質・コミュニケーション能力を高める方法等、進路を考えるよい機会になったと思います。**

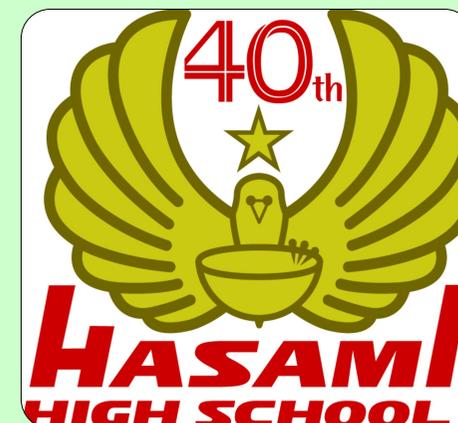
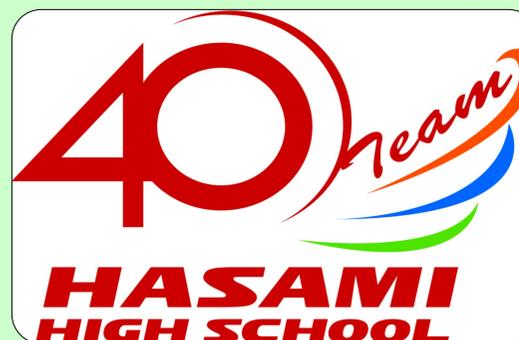
（進路主任 宮崎 恵）



## 創立40周年ロゴマーク決定！

今年度、本校は創立40周年を迎えます。記念式典は実施しませんが、記念行事として、**記念誌の発行、記念体育祭、記念文化祭、記念鴻の巣塾等を開催します。**その実施に向けてロゴマークを募集したところ、2年5組の吉村沙弥香さんがメインロゴを、同じく2年5組の中島渚奈美さん、西村夏希さん、橋本朔良さん、原口 彩さんの4人がサブロゴを制作しました。今年はこのロゴマークを全面に出して躍進する波佐見高校をアピールしていきます。

（生徒会主任 重松聡美）



## 平成28年4月の行事予定

## 8日は始業式・入学式です

4月 8日(金) 始業式・入学式	4月11日(月)～15日(金) 爽やか挨拶運動
4月11日(月) テスト(1・2・3年)	4月12日(火) 対面式・安心調査
4月13日(水) 面談開始(2・3年)	4月15日(金) 部活動編成
4月18日(月)～20日(水) 1年宿泊研修	4月25日(月) 心電図・胸部レントゲン(1年)
4月27日(水) 検尿2次(～28日)	4月28日(木) 内科検診(3年)

